

# きらきら中野通信

発行者  
家庭倫理の会  
中野区  
会長：内倉あゆ子

## 田上不折特別研究員・

### 三年振りに来講



平成二七年九月二七日（火）  
合同おはよう倫理塾が中野中央支部にて行われました。参加者は二八名が出席し、実

践報告に桐山敬子さんが、母が口癖にしていた「早起き上手は死に上手」と題して膝臓癌病と戦う母の介護を遠距離介護に取り組み痛み止め一本も打つ事無く自宅で看取ることができ後始末も順調に出来た体験を発表しました。田上不折特別研究員の講話は栗の七条「疾病信号」の解説を兼ね、美しく老いるには普段が大事であること、「天は自ら助くる者を助く」とあるように、自助努力の大切さを話されました。又美しい老い方の心構えとして①健康・食事は喜んで感謝していただく②多くの友人を持つ③趣味をもつ④お金も多少は必要等と話され喜びの油をさしながら心を動かし、人のお役に立つ事が健康に繋がっていくと締めくくられました。

事務長・安藤忠子

## 合同おはよう倫理塾・

### 事業報告会

十月四日（日）中野中央支部にて合同おはよう倫理塾と事業報告会が行われました。

実践報告に原美春さんが、ご主人が入会当時に「捨我得全」の実践に取り組んで、それを乗り越えられた体験の話をされ亡くなった後に倫理によって一番変わったのは主人だった事に気付き妻である自分は未だに変わっていないと思いきこれからもおはよう倫理塾に通いわがままを取る実践をしますと、実践報告され飯田副参事のまとめでは、奥さんの内助の功があつてこそ乗り越えられたのだと話されました。

飯田副参事の講話は丸山敏雄先生の書かれた波動のお話で「歴史は波動で繰り返され、また人も波動の中で生きていくから、朝の早起きから始まる日々の実践の継続と規則正しい生活リズムを大切にすればきっとよいことが起こる」とお話を伺いました。

開始の挨拶を内倉会長が「私たちは口だけでなく、実際に日々の実践を行うことが大切です」と、その後平成二八年度事業報告を（船久保推進長）

（長井千枝子副推進）（村田守会副事務長）が中野区の活動内容について報告されました。続いて桐山子育て委員長が引き続き平成二八年度の子育てセミナー等の活動計画について、「本年度から会場が中野サンプラザから産業振興センターに変わります」と伝えられました。引き続き二八

年度の広報活動について岡野広報委員長より説明と、新広報委員山田暁生氏の紹介その後各支部長（阿部信子、熊谷英男）が



平成二八年度行事予定やリクレーション等の活動について発表の話がありました

## 新役員紹介



「会事務長になって」… 伊倉功  
家庭倫理の会中野区に入会して、四年目になります。今年から、会事務長のお役をいただきまして、大変なことと感じています。両親の介護を無事に終えてこれからは家族を大切に、健康と趣味の弓道を続け家庭倫理の会中野区の発展に活動の実践に取り組みます

「広報委員」 山田暁夫

微力ながら尽力したいと思えます

## 子育てセミナー

「あなたの子育て大丈夫？」

〜決して自分を責めない子育て〜



十月八日木曜日、二八年度第一回子育てセミナーが中野区産業振興センターにおいて佐藤晶子講師を招いて開催されました。子供が授かった喜びを感謝して初心を忘れないように、子供を作る、などの言い方をする人もいますが、欲しくてもできない人もいます、あたりまえではなく授かりものである事、子供は①愛情の相手②和楽の中心③親の鏡④親の身代わり⑤親まさり、まず自分を好きになる事、自分を好きになれないと子供や他人にも優しくなれないので自分をいかに受け入れるかが大切と結ばれました。

その後、グループトークではにぎやかに交流をして質問コーナーでは、質問が次々に出て、講師の回答に熱心に耳を傾ける参加者の姿が印象的でした。今年度より中野サンプラザから中野区産業振興センターに会場が移り、この会場を中心に開催されます。今回の参加者は七名 託児四名

子育て委員長・桐山敬子

## 日本創生フォーラム

去る十月十二日の体育の日に、創立七十周年日本創生フォーラムが、五千人の観客を集め国際フォーラムで開催されました。

第一部は櫻井よしこさんの講演、第二部はツトムヤマシタさんのサヌカイトという石の楽器をベースにした前衛的な演奏と、丸山理事長の語りのコラボレーションでした。

第一部講演は日本人としての誇りを持つことの大切さと、日本の祖先から受け継がれてきた武士道等の精神文化に根ざした「和・義務・作法」と責任の精神を基調とする日本独自の憲法を見直すことの大切さについてお話をいただきました。

第二部は非常に幻想的な空間で、まるで小宇宙の誕生でも表しているかのような錯覚にとらわれました。

丸山理事長がよく引用される哲学的な宇宙観を表わしているような体感におそわれ、今回の日本フォーラムに込められた想いとは、と考えたとき、我々日本人一人一人が、自分は何者か、どうしてここにいるのかと問うこと、言い換えると、自分は何のために生かされ、どう生きるべきかなど、日本の歴史を通して考えることが大切であると思えました。即ち、倫理の勉強の実践でないかと自分なりに解釈致しました。日本の歴史を振り返り、祖先を敬う心を大切にすると丸山敏雄先生の教えを再認識させていただけた有意義なフォーラムでした。



記事 広報委員：山田暁夫

## 支部活動

雑誌頒布

十月十日に、野方支部で丸山地区にある野方消防署近辺を総勢5名で雑誌頒布行いました。初めての地区でしたが、子連れのお母さまなど、概ね快く受け取ってくださりました。



## 十一月の予定

### 内田靖士研究員研修

男倫理塾

- 日時：十一月十三日（金）
- 時間：午後七時〜九時
- 場所：葉山
- 合同おはよう倫理塾
- 日時：十一月十四日（土）
- 場所：中野中央支部
- 時間：午前五時〜六時
- 子育てワイワイ座談会
- 日時：十一月十四日（土）
- 場所：スマイル中野3FA・B
- 時間：午前十時〜十一時三十分